

交通安全指導者養成・教育普及活動

【交通安全指導者養成活動】

交通安全教育指導者研修会の開催

交通安全教育に携わる行政担当者、交通指導員等を対象にした研修会を開催しています。⇒[詳細](#)



研修等 実施事例

交通安全指導者養成・教育普及活動

【交通安全教育指導者研修会】

平成27年度交通安全教育指導者研修会 開催

1月28日(木)、29日(金)の2日間にわたり、当協会主催(内閣府後援)の「交通安全教育指導者研修会」が国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて開催されました。

本研修会は、全国の交通安全に関わる自治体担当者や指導員等を対象として、交通安全教育の基礎的理論や、実践発表、班別協議を行うことにより、指導者の資質の向上を図ることを目的として昭和48年より開催しており、本年度で43年目を迎えます。

1日目は、NPO日本こどもの安全教育総合研究所理事長 宮田美恵子氏による「子どもの交通安全教育～通学路の安全を考える～」、東京都健康長寿医療センター研究所 老化制御研究チーム副部長・運動科学研究室長 青柳幸利氏による「高齢者の交通安全 高齢歩行者の特性と交通安全教育」についてそれぞれご講義いただきました。次いで、交通NPO OSCNじてんしゃスクール代表 片山昇氏・顧問/理事 若杉たかし氏より「市民活動団体としての交通安全教育」について、実践発表が行われ1日目を終了しました。

2日目の午前は、岐阜県海津市交通指導員の牧野和子氏・倉田幸子氏による幼児に対する「交通指導の実践発表」、次いで、茨城県つくば市交通安全教育指導員の大川初江氏・廣瀬明子氏他名による「高齢者に対する交通安全指導について」の実践発表が行われ、日頃から指導されている具体的な内容や活動の様子について詳しくわかる内容でした。次いで、当協会の加藤重樹部長による「交通安全教育の新たな取組」の実践発表があり午前が終了しました。

午後からは、参加者を「幼児班」「児童班」「高齢者班」「広報啓発の在り方班」の4つのテーマ(6班)に分け、各班においてテーマを決め情報交換を行うとともに、課題及び具体的な解決方法などが熱心に協議されました。その後、各班で協議した内容を参加者全員で共有するための全体会として、代表が発表を行い、最後に受講者全員に修了証が渡され研修会は終了しました。

